

第8回教育支援コーディネーター・フォーラム(報告⑥)

第2部 テーマ別分科会 (13時30分から16時00分まで)

- 分科会Ⅱ「放課後等の子供たちの学習・体験・交流活動をより豊かにしていくために～企業・大学・NPO・団体等と連携した放課後子供教室の活動の展開を考える～」
- 【都民ホール】

分科会Ⅱは111名が参加し、問題提起、事例発表を通じて、子供たちの学びや成長に役立てるため、放課後子供教室等と専門的な知識や技術をもつ企業・大学・NPO・団体等と連携した学習・体験・交流活動の展開について考えていきました。

1 問題提起「放課後等における子供たちの学習・体験・交流活動をより豊かに～地域教育の展開とコーディネーターへの期待」

【講師】村上 徹也さん(日本福祉大学教授、東京都生涯学習審議会委員)



今の子供たちに必要な「学びと成長」への意欲

村上さんは、「現代は先が見えない世の中になっていて、親のようにがんばれば何とかできる時代ではない。そのために子供たちは受け身になりがちで「学びと成長」への意欲が高まりにくくなっている。子供たちの「学びと成長」への意欲を学習につなげていくためにはどうしたらよいか？」と問いかけ、「放課後子供教室では、安心してい

ろいな大人に見守られ、多様な学びが設定され、子供たちは自発的に選んでいる。受け身の子供たちが自発的・主体的に学びを選んでいることが大事ではないか。」と話しました。

子供たちの「学びと成長意欲」を高める3つの方策

村上さんは、一つは「社会で起こっていることを子供たちの学びに結び付ける体験学習を推進し、生活の中で生きた知識を得ることによって学びの価値に気付かせていくこと」、二つめは、「いろいろな大人との出会いを演出し、『こんな人になりたい』だから『学びたい、成長したい』という意欲を育てていくこと」、三つめに「目標に向かって試行錯誤するが、その成果から自分らしさ、自分ならではの価値を見付け、探求するのは『楽しい』と思える体験を提供していくこと」を挙げました。

学校と地域をつなぐ3つのステップ

- 村上さんは、子供たちの「学びと成長意欲」を高めていくために、コーディネーターの活動として、
- ステップ1 コーディネーターは大変で人も足りないので「地域からの協力を得る」
 - ステップ2 地域の自主防災と子供たちが学んだ防災教育をつなぐ等、子供たちが学んだ学習成果を地域の人に伝えていき、「子供たちが地域に協力する」
 - ステップ3 教科学習に役立つ学習を学校の先生と一緒に考え、子供の意欲を高めていく「授業に役立つ体験学習の演出」
- の「3つのステップ」を提起しました。

2 事例報告「放課後子供教室における多様な学習・体験・交流活動の展開～企業・専門学校・NPOの活動事例～」

【事例発表者】

小川 愛さん（日本アイ・ビー・エム株式会社 社会貢献 部長・東京都生涯学習審議会委員）
白川（近藤）真由美さん（日本アイ・ビー・エム株式会社G B S 事業コンサルタント）
菅原 大輔さん（東京スポーツ・レクリエーション専門学校T S Rブランド戦略推進部部长）
渡辺 勇士さん（特定非営利活動法人デジタルポケット理事）



企業・専門学校・NPO から放課後子供教室で実施した活動事例を紹介していただきました。

日本アイ・ビー・エム株式会社社会貢献プログラム事業「トライサイエンス実験教室」では、IBMの社会貢献活動の一つに社員が行うボランティア活動を支援する制度があり、IBMの社員が豊島区要放課後子ども教室で実施した「トライサイエンス実験教室」の事例を紹介していただきました。

東京スポーツ・レクリエーション専門学校によるスポーツ指導では、東京スポーツ・レクリエーション専門学校の学生が、近隣の江戸川区立第七葛西小学校すくすくスクールのサッカー指導を週1回行い、学生も指導力を高めている事例を紹介していただきました。

特定非営利活動法人デジタルポケット「ビスケットでコンピューターゲームづくり」では、コンピュータのプログラミングが簡単にできる「ビスケット」を活用したゲーム作りに取り組んだ墨田区「みどりっ子クラブ」、中野区「キッズ・プラザ武蔵台」、小平市「十三小こどもクラブ」の事例を紹介していただきました。

〔第二部 分科会Ⅱの感想〕

企業

・ホームページに掲載されている事例の生の声が聞けて、大変参考になりました。特に前段の村上先生の話は有意義でした。今後の参考にさせていただきます。

放課後子供教室コーディネーター

・専門の方に来ていただき、児童に体験できる場を与えられるのはとても良いことだと思う。様々な機関が連携して、どのようにいかなることができるのか、いかにせられるのか、考える良い機会になった。

放課後子供教室スタッフ

・まさに日々感じている問題点であると感じました。実践例も面白く、私としても今後の意欲につながりました。
・企業・NPO・団体と子供たちを結び付け、子供たちにもっと学びの場を与えられることに気がきました。もっと外部との接点を探っていきたいと思います。